

伊丹市議会議員 おおつる 求 の 活動報告

みんなちがって、  
みんないい



議会  
報告

2011年度以降だけでも、約2万3千名分の個人情報、本人の承諾も得ずに、市から自衛隊へ渡されていた。

自衛官募集のため、伊丹市が自衛隊へ市民の個人情報(氏名・住所・生年月日・性別)を、本人の同意も得ず、データで提供していたことが昨年の議会で判明したことを受けて、私は個人質問でその実態を明らかにすると共に、提供をやめるよう求めました。

市の答弁によると、自衛隊兵庫県地方協力本部から、データでの情報提供依頼があったのは2011年。

関係する部内で検討した結果、それまでの住民基本台帳の閲覧で問題になっていた自衛隊側の転記ミスや、市職員の立合いの必要も無くなるため、「最も合理的」と判断。

それ以降、中・高・大学世代のデータをCD-Rで渡している、との事。

市が自衛隊へデータで渡した名簿人数(8月15日現在)

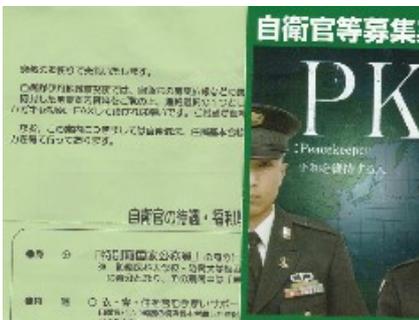
年度	中学生	高校世代	大学世代	合計
2011	996	2,050	700	3,746
2012	1,056	2,058	919	4,033
2013	1,041	2,033	1,922	4,996
2014	1,033	1,971	2,008	5,012
2015		2,073	2,119	4,192
2016	999	今後、情報提供予定		999
合計	5,125	10,185	7,668	22,978

市と防衛省で異なる見解。

市は、自衛隊法等の法的根拠があり、法定受託事務(国に代わり課せられた業務)なので問題は無い、という見解です。

一方、防衛省は新聞取材に対し、「名簿提供は自治体の義務ではなく、あくまで防衛省が協力を依頼する事項」と答えています。

私が電話で確認したところ、防衛省人材育成課は「名簿提供は法定受託事務では無い」との見解を示しました。



市は個人情報の提供依頼に応じるべきではない。

私は市に対し、大切な個人情報を扱っている自覚を求めると共に、本人承諾無しに個人情報を提供すべきではない、と強く求めました。

日々の活動をブログで  
報告しています。  
おおつる求 検索

## 9月議会 エトセトラ

9月議会では23名の議員が質問し、多くの問題が議論されました。その中から身近な話題をピックアップして、ご報告します。



### ◇南、稲野児童くらは対策が急務◇

小学生にとって放課後の重要な居場所である放課後児童くらは。来年4月から小学6年生まで入所対象者が拡大される。

国は部屋の基準として、児童1人あたり概ね1.65㎡以上としているが、市内17くらのうち9つが基準を満たしていない実態が明らかに。

摂陽・昆陽里両くらは、夏休み中に環境改善を図ったが、入所登録児童数が最も多い南、大型マンション建設中の稲野は早急な対策が必要。

#### 1学期(74日間開所)に 面積基準を満たさなかった児童くらと日数

- \* 摂陽: 72日 \* 南: 47日 \* 昆陽里: 24日
- \* 緑丘: 15日 \* 稲野・神津: 11日
- \* 鈴原: 9日 \* 花里・池尻: 1日

### ◇啓発すれども、なかなか進まず◇

住宅の耐震改修工事が進んでいない。市内で簡易耐震診断を受けた3,505戸(累計)のうち、約8割が耐震改修工事を必要としているが、県や市の補助事業を活用した工事は187戸(累計)に留まっている。

### ◇市バスは伊丹の重要なインフラ◇

本市は鉄道空白地が約8割を占め、市全域を市営バス等の路線バスがカバーしている。

高齢者特別乗車証(敬老パス)事業は、重要な福祉政策のひとつ。昨年度は対象者の75%にあたる約2万5千枚発行され、高齢者の「足」として定着している。

不採算公共路線や生活維持路線を守ることは、市民の「移動権」を保障する観点からも大切。市民の生活インフラ・市バスを応援していきたい。

### ◇市立伊丹病院が分娩再開◇

2014年4月から産婦人科の入院診療・手術・分娩を休止していた市立伊丹病院。

昨年11月から分娩を再開し、今年度300件を上回る見込み。

### ◇公立幼稚園の今後◇

1小学校区1園制を特徴とする公立幼稚園への入所希望者が減少の一途をたどっている。

2014年、市学校教育審議会が「公立幼稚園16園を10園程度に統合し、適正規模に整備していく」方向性を示した。

それを受けて昨年・今年と市教育委員会は、市内各地で市民との対話集会を続けている。

来年4月の市長選後に基本方針及び計画が出てくると思われ、公立幼稚園は大きな岐路にある。

### ◇快適な自転車環境を◇

コンパクトで平坦な地形から、代表交通手段として自転車を利用する人の割合が29%と高い数値を示す伊丹市。一方、駅前の放置自転車や自転車関連事故の多さは長年の課題だ。

#### 放置自転車対策

阪急伊丹駅周辺に駐輪ラック設置、及び駐輪指導・放置自転車撤去強化をした結果、2013年5月調査では1,159台の放置自転車があったが、今年6月には343台に大幅減少した。

今後も放置集中エリアにラックを設置する予定。

#### 自転車関連事故対策

自転車レーン整備が進み、今年度中には市内県道・市道あわせて約6.4kmが完成予定。

2020年度までに幹線道路を中心に13.8kmを整備する予定。



そういえば、2015年度のことですが・・・  
**あの事業は、どうだったのか？** 一般会計決算委員会報告

**臨時福祉給付金**

低所得者に対し、消費税率引上げ(5→8%)による影響を緩和するため、簡素な給付(一人6千円)措置を前年度に引き続きおこなった国の経済対策事業。選挙対策のバラマキとも揶揄された。

市内31,430人に対し総額1億8,858万円が給付されたが、その事務費に給付額の約2割である3,900万円がかかった。

全額国の負担のとはいえ、国のお金も私たちの税金、ですよ。



**伊丹市シルバー人材センター**

年配者の働く機会・生きがいの充実・福祉の増進を図るシルバー人材センター。会員数2,942名、70代以上が全体の6割を占める。平均年齢は71.7歳。契約件数6,737件で事業収入は約12億3千万円。駐輪場管理など公共の仕事が激減し、民間からの仕事が約78%を占める。

**プレミアム商品券**

国の交付金を活用し、伊丹市プレミアム付商品券「たみま〜るごと商品券」を発行。500円券24枚(1万2千円相当)を1万円で約6万冊販売。

地域振興券の反省を活かし、8枚を「中小店舗専用券」、残りを大型店も使用できる「共通券」としたため、52%が中小店舗で使用され、一定の成果を得たものの、消費喚起・地域経済活性化につながったかは担当課も『不明』。

これも全額国の負担ですが、国のお金も私たちの税金。何度も言いますが・・・。



**中央公民館**

市民活動の拠点であり、学習の場である中央公民館。老朽化に加え、耐震化問題もあり、公共施設再配置計画にて他の公共施設へ移転が決定している。

公民館での出会いをキッカケに地域活動している市民も多いだけに、移転場所や規模等を慎重に考える必要がある。

**生活困窮者自立支援事業**

生活困窮者が生活保護に陥る前の段階で支援し、困窮状態から自立を目指すという事業。相談から支援計画の作成、職場体験などの継続的な支援をおこなう。この事業を通じて61名の方が就職された。

また、事業者が市の業務を受託して、生活困窮者に対して就労訓練を実施する場合、優先発注ができる仕組みを全国に先駆けて整備した。

包括的な相談支援

◆自立相談支援事業

〈対個人〉

- ・訪問支援等(アウトリーチ)も含め、生活保護に至る前の段階から早期に支援
- ・生活と就労に関する支援員を配置し、ワンストップ型の相談窓口により、情報とサービスの拠点として機能
- ・一人ひとりの状況に応じ自立に向けた支援計画(自立支援計画)を作成

フォトダイアリー [おおつる求ブログから]



[写真説明・左上から時計回り]

- \* 人権フェスティバルで講演 辛淑玉(シン スゴ)氏
- \* 阪神土建労働組合 子ども木工教室 盛況
- \* 防災イベント「クール稲野」 消防車大人気
- \* やまゆり園事件 当事者団体アピール街宣
- \* 建設アスベスト大阪訴訟 控訴審始まる
- \* 体育の日のつどい開会式 晴天のもと



市内観光施設でFree Wi-Fi サービス

「Itami\_Free\_Wi-Fi」

11月スタート

[エリア]

旧石橋家住宅、旧岡田家住宅、  
有岡城跡公園、柿衛文庫ロビー、  
観光物産ギャラリー

[対象言語]

日本語、英語、韓国語、タイ語  
中国語(簡・繁)、ポルトガル語

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。  
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大 津 留 もとむ

伊丹市議会議員 **おおつる 求**

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。

- 近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」に参加 ■中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■建築従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局
- 2015年の伊丹市議会議員選挙に社民党公認で立候補、初当選 ■市議会会派「フォーラム伊丹」所属。

日々雑感

- 「私たちの命は健常者より軽いですか?」。障害者殺傷事件が起こる社会へ当事者が問う。
- 中・小・保育所と3週続いた運動会。雨も降らず無事終了。
- 二〇二〇年迄に死刑制度の廃止を目指す」日弁連が宣言。
- 廃止へ向けて粘り強く行動。戦争法制成立から毎月19日、超党派で街宣行動を続け一年。
- ウイナーは肉か否か。息子の弁当おかずを巡る家族論争。
- メダル至上主義の五輪は必要なのか。マジメに考えた夏。
- アレギー原因主要食材を使わず作る「なかよし給食」。
- みんな同じ給食を食べる喜び。
- 「ヘイトは政治が作り、差別は殺人に繋がる」と辛淑玉氏。
- オキナワに真の民主主義を。
- 神戸マラソンに向け練習せねば。焦りながら過ぎる日々。